第２回青森・南部地域道路ネットワーク検討会の概要

１．月日：平成３０年５月１８日（金）

２．場所：青森河川国道事務所会議室

３．出席者：

武山　泰	八戸工業大学教授
井上　隆	青森大学教授
永尾　慎一郎	国土交通省東北地方整備局道路部　道路調査官
佐近　裕之	国土交通省東北地方整備局　青森河川国道事務所長
福士　祐治	青森県　県土整備部長
下村　誠	青森県県土整備部　道路課長（兼　青森県道路公社理事）

４．議事：

（１）　前回検討会の議事・意見

（２）　企業ヒアリング結果

（３）　整備方針（案）

５．議事内容：

○　前回検討会の主な意見と対応策を提案し、了解を得た。

○　企業ヒアリングの結果から、みちのく有料道路等における冬期対策、各団体が抱えているドライバーの負担軽減等が図られる対策を望む声が多いことを実感。

○　整備方針（案）として、以下の当面の機能強化内容を提案し、概ね了解を得た。

【野辺地～七戸間】

・七戸～青森間との連結

・上北自動車道の供用時期・将来交通量を見据えた機能強化

【七戸～青森間】

・一部現道活用（自専道相当）

・上北自動車道の供用やみちのく有料道路の償還後の将来交通量を見据え、青森県で前後の県道を機能強化

・みちのく有料道路償還後などの将来交通量を見据え、みちのく有料道路の機能強化

※沿道状況を勘案し、区間毎に機能強化を検討

【主要幹線道路の管理】

・将来ネットワークを踏まえた主要幹線道路の管理のあり方を検討

○　将来望ましい姿（自専道整備）までに要する時間と、上北自動車道全線供用等による効果発現を考えれば、一部現道活用する機能強化は現実的であり、時間軸を考慮した早期対策が重要である。

○　現道活用による機能強化は将来手戻り（二重投資）が生じないようにすること、コスト縮減に配慮した整備とすることが必要である。

○　引き続き、整備主体、管理主体についても調整を進める。